

# CSR REPORT 2021

安全・環境・企業市民活動

## 年次報告書



株式会社 巴商会  
TOMOESHOKAI CO.,LTD.

## お客様のためになることをする

### 「安定供給」「安全確保」に対する取り組み

お客様のもとへ安定的に且つ安全に各種産業ガスをお届けすること、また、それを通して社会の様々な分野の発展に貢献すること、それが私ども巴商会の使命です。

各種産業ガスは様々な分野で様々に役立っているものですが、いざ扱いを誤ると大変危険なものとなります。そのため私どもでは、各種産業ガスを安定的にお届けすることは当然のこと、お客様が実際に現場でご使用されることまで、法令に基づいて適切な取り扱いを励行し、徹底した安全の確保に努めております。

この「安定供給」「安全確保」への取り組みの継続こそ、私どもがまず始めに果たさなければならない社会貢献であると考えています。

### 「お客様のためになることをする」取り組み

Industry4.0といわれる時代にあって、すべてのお客様が、日タイノベーションの創出に取り組まれています。私どもはそうしたかけがえのないお客様の信頼できるパートナーとして、常にお客様と共にあって、共にイノベーションの創出を実現して参ります。こうした「お客様のためになることをする」ことを通じ、広く行政サービスの原資を生み出し、且つ社員の生活基盤の安定を確保します。そして、それにより事業の継続性が高まり、さらにお客様のためなることをすることができるようになります。

私どもはそのような考え方や行動の規範を「お客様のためになることをする」という社是に込めて、創業当初より忠実に守り実践しています。そして、これからも変わらずに守り実践して参ります。

一企業として行政サービスを通じ社会に貢献し続けること、それもまた私ども巴商会が果たさなければならない重要な責務であると考えています。

### 企業市民としての取り組み

私どもは経済・産業の面での企業活動にとどまることなく、持続可能な社会に向けての役割を果たしていくことも大切な取り組みであると考えています。地域貢献活動、各種ボランティア活動への参加をはじめ、世界的な課題であるSDGsへの取り組みも積極的に行っています。

また、先般の、政府による脱炭素宣言においては、私どもの水素・新エネルギー事業がソリューションの中核として極めて重要な役割を担っているものと自負しており、引き続き積極的に事業に注力し、カーボンゼロ実現に貢献して参ります。

そして、新型コロナウイルス（Covid-19）は、変異株の出現もあり引き続き世界中で猛威を振っています。まずは一日も早いコロナ禍の終息実現のため、私どもは、より一層、医療にかかわるガスをはじめ各種産業ガスの安定供給体制の堅持に努めて参ります。

こうした企業市民としての取り組みを継続していくためには、全社を挙げて防疫に努め、こうした取り組みを支える社員一人一人の健康に留意すると同時に、心身共にいきいきと笑顔で働ける職場づくりが大切であると考えております。

私どもは、健康優良企業として健康保険組合より「銀の認定」を取得しておりますが、これに慢心することなく、これからも健康企業宣言のもと、社員が健康で安心して働くことのできる職場を提供する企業であり続けたいと考えています。

これらのことはコーポレートサステナビリティを高めていくための取り組みそのものであり、重要な経営課題でもあります。

私ども巴商会は、これからも斯かる理想の実現に向けて、身の丈にあった地道な活動をおろそかにすることなく取り組んで参ります。

引き続き、私ども巴商会にご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

株式会社巴商会  
代表取締役社長 深尾定男



代表取締役社長  
深尾定男

## SDGs (Sustainable Development Goals) とは

世界では環境汚染や格差問題など、全世界で取り組まなければならない多くの課題が残されています。2015年、それら様々な課題に対して、17のゴールと169のターゲットからなる国際開発目標「SDGs(持続可能な開発目標)」が国連において日本を含む世界193カ国の合意のもと採択されました。SDGsは2030年までに達成すべき目標とされ、わが国でも2016年、政府に「SDGs推進本部」が設置され、国や自治体、企業やNPO、市民、さまざまな人々を巻き込んで「SDGs」目標達成のための活動が始まっています。

17のゴールと169のターゲットの詳細については、JAPAN SDGs Action Platform をご参照ください。  
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 持続可能な社会への取り組み

巴商会は、国連が掲げる2030年をターゲットにした持続可能な開発目標「SDGs」への貢献に向けて取り組みを進めています。

企業市民の一員として社会課題の解決に貢献し、産業用高圧ガスを取り扱う当社ならではの視点で事業活動を通じた取り組みを推進していきます。



### 1 | 産業ガス事業



◆あらゆる分野にベストマッチな産業ガスを提案し、安全かつ安定的に供給しています。また、ガス供給に関わる設備・機器の設置からメンテナンスに至るまで、法令に基づきお客様をサポートすることで、それぞれの産業の技術革新・社会全体の安定と安全に貢献しています。



◆ガスによる災害を防止するために、全社での「安全衛生保安委員会」を月1回開催し、法律改正、災害防止策、他社事例も含むヒヤリハットおよび事故の原因究明と対策等を全社へ周知しています。

◆社内技術教育・社内資格制度により、ガスを扱う社員の技能向上に取り組んでいます。  
◆お客様の使用状況に合わせた「保安講習会」を開いて、安全なガスの取扱いについての啓蒙活動をしています。



◆除害装置の開発・販売を通じて、産業活動により排出されるガスから大気汚染や人体に被害を及ぼす物質をなくし、環境保全と人々の健康に貢献しています。



◆地球温暖化に影響を与えるSF6ガスの回収・処理をしています。



◆EMS活動（電力使用量計測・車両の燃費向上・エコカーの導入・太陽電池等）によるエネルギー使用の削減、環境測定、環境教育に取り組んでいます。



◆何度も繰り返し使える緩衝材の開発など、ゴミを減らす活動をしています。



◆工場からの排気ガス分析や環境負荷の評価を行い、地球環境の保全に貢献しています。

### 2 | 新規事業



◆太陽光、風力やバイオマスなどから水素を製造する等、エネルギーの安定供給に関する実証を進めて、再生可能エネルギーの利活用推進に取り組んでいます。



◆在宅医療が必要な方々へ医療用ガスをお届けすることにより、地域社会の福祉に貢献し、また高齢化社会の一助を担っています。



◆高濃度酸素溶解装置により魚の養殖の効率化に取り組み、気候変動、海洋汚染による水産資源の枯渇に対応する水産養殖事業を推進しています。



◆耐汚染性・耐久性に優れた環境負荷低減型多孔質分離膜モジュールによる排水処理事業を推進しています。



◆液体窒素を活用し、再生医療分野等の低温試料向け凍結保存容器の販売や低温保管・輸送サービスの提供をグループのプラットフォーム事業として取り組んでいます。

### 3 | 働きやすい環境づくり



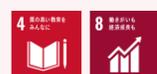
◆女性活躍推進チーム（イイトモ）を立ち上げ、女性社員の働きやすさを追求し、女性のみならず社員全員が働きやすい会社をめざしています。



◆社員が健康で生き生きと働ける会社を目指して、会社全体で健康経営に取り組んでいます。  
◆ワークライフバランスの充実のため、時間外労働を減らす取り組みをしています。  
◆社員のセルフケアのために、毎月メンタルヘルス通信を配信しています。また、全社員を対象にストレスチェックを実施し、社員の心の健康維持・向上に努めています。



◆女性の育児休業制度の利用者は、今年度（2020.9.1～2021.8.31）も100%でした。さらに、男性の育児休業も取得を推進しています。  
◆育児短時間勤務制度は子供が小学校3年生の3月まで適用される等、社員の子育てを支援しています。



◆全社員、全職種を対象に社員研修を実施しています。入社半年後研修をスタートに3年目まで社会人としての基礎、7年目まで実務、以降はマネジメントやスペシャリスト研修など。また、階層ごとの立場に合った課題をテーマにした研修も行っています。



◆地域との共生や環境保全のため、野外のゴミ拾い活動や交通安全街頭活動などのボランティア活動に、積極的に取り組んでいます。

私達は、高圧ガスを販売する企業の責任として、高圧ガス容器の移動、供給、消費、廃棄に至る、すべての場面における公共の安全の確保と自主保安を促進するための活動を実行しています。

## 『安全』活動の取り組み

### 高圧ガスの移動に対する取り組み

高圧ガスを積載した車両の事故は、周囲に甚大な被害を及ぼす恐れがあります。巴商会では、高圧ガス運搬中の事故を防止するため、2013年5月より、高圧ガスを運搬するトラックを中心にドライブレコーダーの導入を開始し、2018年にほぼ全てのトラック・バンへの設置が完了しています。このシステムを用いて、管理者が危険運転に結びつく挙動をリアルタイムに確認・指導することにより、ドライバーの体調管理や安全運転意識の向上を促し、交通事故防止に役立てています。



ドライブレコーダー付きガス配送用トラック

### ガス供給システムにおける取り組み

高圧ガスを使用するには、ガス供給設備、移送するための配管、毒性ガスを含む排気を処理する除害装置などが必要となりますが、巴商会では、2002年7月にこれらのガス制御システム全般の設計・製作・施工管理を行っている技術部門にて、品質マネジメントシステム「ISO 9001」の認証を取得しました。このマネジメントシステムに従いPDCAサイクルを回していくことによって、製品や業務の継続的改善を行い安全管理に役立てています。



【配布用和文】QMS登録証(2021)

## お客様と取り組む安全

### 保安講習会の取り組み

高圧ガスの『公共の安全』確保に向けた取り組みは、社内活動だけに限りません。高圧ガスをお客様へ引き渡した後に正しく取り扱っていたことが、『公共の安全』の確保には欠かせないと考えています。巴商会では、高圧ガスを安全に使用して頂くため毎年100件程度のお客様を訪問して「高圧ガス保安講習会」を行ってきました。昨年から、コロナの影響を鑑みてwebによる講習会を主としていますが、直接訪問するのと変わらずお客様の声を直に聴き、お客様が抱える問題を一緒に解決していくことによって災害の芽を未然に摘み、安全の確保に努めています。



Webによるお客様向け保安講習会



#### 社員の一言

高圧ガスを安全に使用するには、供給・輸送・消費など全ての段階の安全を確保する必要があります。安全課では、各段階で取り扱う人たちが自主性をもって保安に努めることができるように、知識・力量を高める教育・訓練を行っています。これら教育・訓練の質を高めて行くことで、公共の安全確保に寄与できるよう努めていきたいと思っております。  
安全課 宮内 英樹

## 安全をキープする人材の育成

### 社内技術教育・社内資格制度の取り組み

現代は多くの産業で自動化が進み、高圧ガス業界でも供給設備や除害装置などの大部分は自動化されています。しかし、容器交換や排ガス処理筒交換については未だ人の手でわざとるを得ず、作業者の知識や力量によって得られる結果は大きく異なります。巴商会では、これらの特にリスクが高いと位置付けている交換作業に対し、実機モデルを用いた実技指導・検定を年1回行い、作業者の技能向上と保持に努めています。今年はコロナ渦の中で実技指導が思うようにできませんでしたが、コロナ騒動が落ち着いたら再開できるよう準備しています。またその他にも、工事立会い業務、NMRへの液体He充填業務、高圧ガスの運送業務など、特にリスクの高い業務に対しても社内資格制度を設け、作業の適切性・安全性の確保を目的とした人材育成を行っています。



排ガス処理筒交換実技指導

#### 社内資格制度

- 特殊材料ガス容器交換作業資格
- イオン注入装置容器交換作業資格
- 排ガス処理筒交換作業資格
- NMR等充填作業資格
- 工事立会い者資格
- 高圧ガス運送資格

### 安全の意識高場に向けて

巴商会内で起きた不具合やヒヤリハット情報は、社内イントラネット「TOMNET」を通じてバグループ全体へ素早く周知されます。巴商会では、こうした不具合やヒヤリハットの情報は貴重な組織の知識と捉え、情報をデータベース化して社員の誰もが閲覧できるようにしており、これを業務改善や安全教育の資料として活用することにより、同類の不具合を繰り返さないことはもちろん、リスクに対する感受性を高めることや作業改善を行うなど安全意識の高揚を図っています。



工事立会い者 社内講習会

#### TOPIC

### 緊急時を想定した安全商品開発

#### 安全に関する商品開発について

液化毒性ガス容器からの万が一の漏洩に備え、容器を立てた状態で容易に素早く被せて拡散を防ぐ『漏洩措置カバー』を2013年6月に開発（特許第6126916号）し、巴商会で毒性ガスを運送する全車両に配備しています。また、2019年9月には、アンモニアガスや塩素ガス等が容器から漏洩した際に、現地で一時的な除害処置が行える車載用ポータブル除害筒を設計・作成し、対象車両に配備しています。

保管中の容器はもとより、お客様へお届けするまでの運送中における不測事態への備えについても『公共の安全』を確保する上で重要と考え、取り組んでいます。



車載用ポータブル除害筒



漏洩措置カバー

## 1 | 環境活動への取り組み

### 環境方針

巴商会グループは、地球環境と調和した社会づくりに貢献し、より豊かな未来を創造していくことを目指すために以下を実施します。

#### 基本理念

巴商会グループは高圧ガス関連の専門商社であることを活かし、環境マネジメントシステムを構築して効果的な運用と継続的な改善を推進し、環境への汚染予防に努め安心と安全を社会に提供します。

#### 行動指針

- ① 環境に有益な商品の開拓と販売を促進し、環境負荷物質に配慮して、環境保全の推進へ継続的に貢献します。
- ② 関連法令及び関連基準の遵守に社員全員が積極的に取り組み、自ら監視して安全の確保を図ると共に誠意ある事業活動を展開します。
- ③ ガス・薬液等の設備や容器を保守管理し、不良や劣化による漏洩を監視して環境汚染及び災害を未然に防ぎます。
- ④ 使用するエネルギーを監視して省資源化に取り組み、事業に必要な資材・設備機器は環境に配慮したものを利用して、温室効果ガスの削減に寄与します。



### 環境法令

巴商会グループは、コンプライアンスを柱とした環境マネジメントシステムを構築し、環境法令の遵守に取り組みます。

#### 主な適用法規

|         |            |          |
|---------|------------|----------|
| 高圧ガス保安法 | 自動車NOX・PM法 | 浄化槽法     |
| 労働安全衛生法 | 電気事業法      | 大気汚染防止法  |
| 食品衛生法   | 医薬品医療機器等法  | PRTR法    |
| 騒音規制法   | 毒物及び劇物取締法  | 温対法      |
| 廃棄物処理法  | 消防法        | フロン排出抑制法 |
| 下水道法    | 省エネ法       |          |
| 水質汚濁防止法 | 振動規制法      |          |



#### 適用条例

都道府県条例：19条例31項目  
市区町村条例：33条例44項目



#### 社員の一言

当社の製品・サービスは、高圧ガスに関連しており保安や環境へのリスクが高いため、EMSではコンプライアンスに注力した活動を行っております。  
また、当社は拠点数が多く地方自治体の条例が多岐に渡るため、その把握や順守に抜けがでないようなEMSの運用を心掛けております。

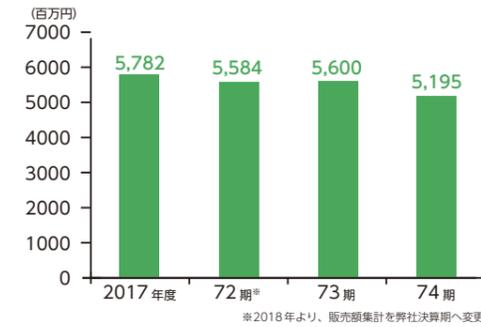
環境課 吉峰 傑

## 2 | 2020年度の主な環境活動結果

### 環境商材の拡販

高圧ガスの専門商社として、今年度も環境に有益な環境配慮型商品の販売促進に努めました。

#### 環境配慮型商品の販売額



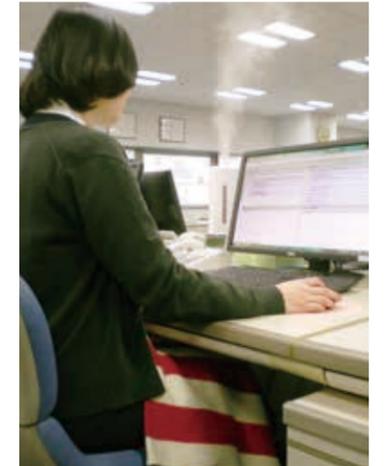
#### － 拡販を目指す環境配慮型商品 －

- 【除害関連商品】 毒性ガスを無害にしてから放出する商品
- 【ガス検知器関連商品】 毒性・可燃性ガスの漏れを検知する商品
- 【防災関連商品】 高圧ガスなどの災害に備えた商品
- 【エコ商材関連商品】 製造・使用・廃棄が地球環境に優しい商品
- 【排水処理関連商品】 排水を環境基準に適合させる商品

### 電力使用量の削減

節電や太陽光発電・デマンドコントロール等により、使用する電力の削減に取り組みました。

#### 電力使用量（ガス製造電力は除く）

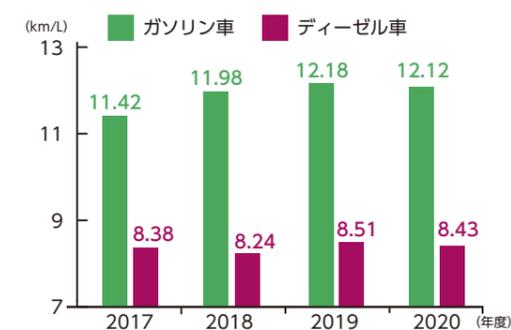


ウォームビズを実施している様子

### 車両の燃費向上

車両の入替やエコ運転・アイドリングストップ等により、今年度も使用する運送車両燃料の削減に取り組みました。

#### 車両平均燃費量



## 太陽光発電の運用

保有する4拠点\*の太陽光発電により、使用する電力の一部を自給しました。

### 太陽光発電量



— 当社の太陽光発電保有事業所 —  
・高崎営業所 ・伊勢原営業所 ・千葉営業所

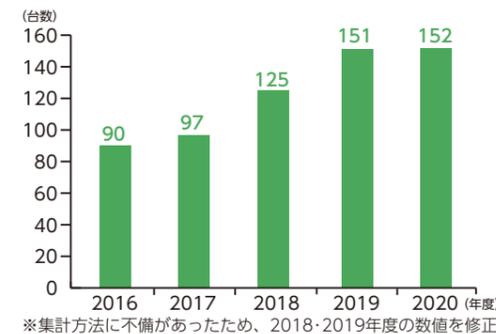


※設備改修のため18年10月より、3拠点に変更

## エコカーの導入

社有車に燃料電池車を導入し、ハイブリッドカーの保有台数も増加しました。

### ハイブリッドカーの保有台数



— 当社の主なエコカー —  
トヨタMIRAI トヨタプリウス ホンダシャトル  
トヨタアクア トヨタカローラアクシオ 他

## 環境教育の実施

環境教育を全社員に実施し、環境配慮の必要性や重要性を認識させました。また2020年度は新型コロナウイルスとEMS活動を絡めた内容を実施しました。

### 環境教育の受講率



— 2020年度の環境教育 —

1. そもそもISOって何？
2. 内部監査は警察の取り締まりと一緒に??
3. 新型コロナとEMSの話



イントラネットを利用した環境教育のスライドの例

## 水素社会実現に向けて

巴商会は、水素社会実現に向けて「グリーン水素」に着目しています。水素は炭素を含まないので燃料として利用した際にCO<sub>2</sub>を排出しません。しかしながら、現在流通している水素の殆どは製造時に多くのCO<sub>2</sub>を排出しています。そこで、製造過程でもCO<sub>2</sub>を排出しない「グリーン水素」の製造、輸送、消費に向けて取り組んでいます。



巴商会は水素社会実現に向けて様々な取り組みをしています

## Power to Gas (P2G)

グリーン水素は再生可能エネルギーによって発電した電力を利用して水の電気分解によって製造しますが、電気のエネルギー全てが水素に変換できるわけではなく、水素に変換せずそのまま電気として利用するほうが高効率と言えます。しかしながら再生可能エネルギーによる発電は、発電量が不安定で使いづらい電力なのが実情です。そこで安定した部分はそのまま電力として利用し、不安定な部分は水素に変換することにより長期保管・輸送が可能なエネルギーとして利用します。今まで有効に利用できなかった不安定な余剰電力を水素化することにより、再生可能エネルギーの効率を改善することが出来ます。このような、再生可能エネルギーを一度ガスに変えて利用することを、Power to Gas (P2G) と言います。

巴商会はガスのプロとして、今まで蓄積したガスに関するノウハウを発揮し、既に再生可能エネルギーに取り込んでいる、あるいはこれから取り込もうとするお客様に、より良い提案をして参ります。

## 水素ガスの物流革命

巴商会では、高圧水素カードルやトレーラーを従来の鋼製容器から複合容器へ転換することを目指して活動しております。従来の鋼製カードル(30本組)は4tonトラックに1基しか積載できず輸送効率がいいとは言えませんでした。複合容器化により2基積載可能になり、およそ2倍の効率で水素を輸送できます。輸送効率が上がるというのは、人件費などの削減だけではなく、少ない回数でより多くのガスを輸送することで、トラックの排気ガスの削減にもつながります。



近い将来、この水素トレーラーで大量の水素を運びます



### 社員の一言

水素は利用時にCO<sub>2</sub>を排出しないエネルギーですので、再生可能エネルギーを利用したグリーン水素を供給し利用することが出来れば、CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減することができます。さらに輸送等を含めたすべての過程でのCO<sub>2</sub>を削減したシステムづくりに取り組むことで、将来的にはCO<sub>2</sub>排出ゼロを目指し、脱炭素水素・環境推進課 本橋 正輝

## ライフサイエンス事業への取り組み

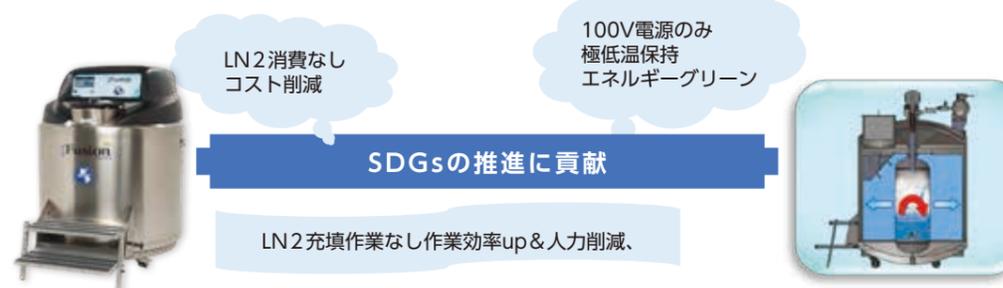


巴グループが得意とする液体窒素を活用し、再生医療分野等の低温試料向け凍結保存容器の販売や低温保管・輸送サービスの提供をグループのプラットフォーム事業として取り組んでいます。

### 省エネ型 超低温試料保存容器 MVE Fusion® 1500TM

★本装置は、液体窒素を冷却源としながらも100V電源のみで液体窒素を消費することなく-150℃以下の温度帯を維持できる「液体窒素回生方式」を採用することで、従来タイプの液体窒素保存容器や超低温フリーザーに比べて大幅にエネルギーコストを削減しています。

★従来式の液体窒素保存容器に必要な液体窒素の補充作業が不要となることで、作業効率が上がり、より高い経済生産性を達成できます。



### 低温試料の輸送サービス

低温試料輸送容器の冷却から運送まで、巴商会在が請け負います。予め冷却した輸送容器をお客様にお届けし、目的地まで配送します。お客様はサンプルを容器に入れるだけで、輸送容器の冷却や配送の手配などの作業が不要になります。



輸送容器にLN2充填 「温度データロガー」付で安心



### ライフサイエンス事業の技術拠点 (神戸ガスターミナル)

神戸ガスターミナル敷地内に、クリーンルームを備えたライフサイエンス棟をライフサイエンス事業の技術拠点として設置しています。輸入されたMVE製品の受入検査や出荷作業を行うほか、巴商会在が得意とする液体窒素を活用した再生医療分野等の低温試料の保管・輸送サービスをスタートさせます。



#### 社員の一言

大切な検体や試料をより安心、安全、低コストで保存するのは、Fusionだからこそ、実現できると思います。病気で苦しんでいる患者様達に微力であっても、お力になれば嬉しく思います。

企画営業部 ライフサイエンスグループ 姜 春喜

## 在宅医療の取り組み



巴商会在は、病院や公的機関と連携し、在宅医療が必要な方へ医療ガスをお届けすることにより、地域社会の福祉に貢献し、自宅で療養したいという患者さまのニーズにお応えしています。在宅療法の種類には様々なものがありますが、たとえば「在宅酸素療法 (HOT)」では、慢性呼吸不全の患者さまが家庭で酸素投与を受けられることによって、QOL (生活の質) を改善することができます。住み慣れた自宅で酸素を補うことによって、自宅でご家族と過ごすこと・外出や旅行に行くこと・趣味を楽しむこと・仕事を続けることができるようになります。また、今年度より取り扱うようになりましたHigh Flow Therapyは、成人から小児、新生児領域の酸素療法で、人工呼吸器を装着しなくてもいいので患者さまの負担軽減になり、非侵襲的換気療法の新たな選択肢として注目されています。



その他にも、巴商会在で取り扱っている在宅療養は下記のようなものがあります。

- 在宅人工呼吸療法 (鼻マスク式 NPPV)
- 在宅人工呼吸療法 (気管切開 TPPV)
- 在宅持続陽圧呼吸療法 (CPAP)
- 在宅中心静脈栄養法 (HPN)
- 在宅成分栄養経管栄養法 (HEN)
- 在宅小児経管栄養法 (HPEN)
- 在宅悪性腫瘍の鎮痛療法および化学療法
- 在宅自己注射



睡眠時無呼吸症候群の治療器

機器の定期メンテナンスはもちろん、緊急時の対応は365日・24時間体制で行っています。高度管理医療機器等販売業貸与業・医療機器修理業の許可証、医療関連サービスマーク振興会による在宅酸素療法における酸素濃縮装置保守点検の認定を受けています。

患者さんが多数いると言われております「睡眠時無呼吸症候群」の簡易検査とその治療にも関わっています。



睡眠時無呼吸症候群の検査装置



#### 社員の一言

私たちは患者様お一人お一人のニーズに合わせ、医師や看護師・ケアマネージャーなどの多職種の方々と連携を取りながら日々活動しています。

患者様と医療機関双方から「巴商会在さんでよかった」と思っていただけ、迅速かつ患者様に寄り添ったサービスを提供しています。メディカルサービス部 在宅推進課 笠間 佳奈子・小磯 弓枝



## 健康経営の取り組み

### 株式会社巴商会 健康企業宣言

わたしたちは、「お客様のためになることをする」という社是の土台をなす要素として、社員のからだの健康の維持増進、心の健康の向上に取り組むことを決定し、ここに健康企業宣言をいたします。

私たちは、産業用ガスに携わるものとして、「安全」をことのほか重んじてまいりました。そして、その安全を守るために必要なものは、社員の「安全」、わけても「健康」です。心身ともに、いきいきと、笑顔で働ける職場環境を、組織全体で整えて参ります。

巴グループの皆さんも、一人ひとりが健康の維持増進、生活習慣の改善を心がけていただき、心身の健康を力の源とし、よりいっそうお客様と社会の発展に貢献して参りましょう。



### 健康保険組合『銀の認証』更新

昨年に引き続き健康経営の取り組みを健保組合に提出し、健康優良企業認定を更新いたしました。

#### ～取り組んだ項目～

- ①健康診断
- ②健康診断結果の活用
- ③健康づくりのための職場環境整備
- ④食事
- ⑤運動
- ⑥禁煙
- ⑦心の健康



### 本社リフレッシュコーナーに『健康アプリ連動 自動販売機』を設置

本社のリフレッシュコーナーに、お得に買えるトクホ飲料や自由参加の健康アプリ機能も付いた自動販売機(軽食販売付き)を設置しました。気軽に健康活動(ウォーキング等)をしながら小腹も満たせる、また財布にも優しい自販機は、社員からも好評です。



### 新入社員研修にて「健康経営の取組み」「セルフケア」に関する講義を実施

コロナ禍により、オンラインを通じて上記の講義を実施。「社員が健康であることが会社全体の活性化にも繋がる」ことを伝えるとともに、「ストレスマネジメント」「レジリエンス」の概要についても触れ、セルフケアの大切さについて共有しました。

昨年に引き続き研修朝礼内で体操も行いました。



#### 社員の一言

withコロナ生活と共に、社員全員の食生活改善・運動の推進・こころの健康をお手伝いする活動を、ヘルスリテラシー向上のステップを踏みながら、今後も楽しく続けていきます。「ご健康に!」  
健康経営事務局 進藤 素子

## サービス残業撲滅への取り組み

当社では2018年より、未申請の残業撲滅を目的として、「サービス残業撲滅システム」を稼働させています。このシステムは、あらかじめ時間外勤務の申請が無い場合、予定就労時間の終わりとともにパソコンが自動でシャットダウンするものです。昨年の緊急事態宣言中、時差出勤の適用により業務中にパソコンがシャットダウンしてしまう事象が多数発生してしまい、手計算や仮申請等での一時対応を強いられました。時差出勤が定常化したため、システムの運用を変更しました。出勤パターンを増やし、それぞれのパターンが使える社員との紐づけやそれを管理する100名以上の社員の設定変更も行いました。これにより、出勤パターンの所属長による設定変更が可能になり、不慮のシャットダウンが防止されるようになりました。社員の手間が大幅に削減され、就業時間記録の精度が向上したことで、安心して働ける環境づくりの一助になりました。



#### 社員の一言

「サービス残業撲滅システム」の稼働により、残業時間の意識を高めることで不要な時間外勤務を削減し、その結果社員のワークライフバランスの充実に繋がればと思っています。  
人事課 三田村 真紀

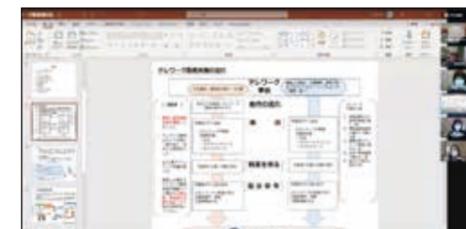
## テレワーク検討委員会の発足

当社は、コロナ禍の緊急事態宣言をきっかけにテレワークを行ってまいりましたが、その経験をふまえ、今後感染状況が落ち着いた後もテレワークを行うことが可能かどうかを検討するために本年2月テレワーク検討委員会を立ち上げました。

社員の働き方が多様化する中で、テレワークを導入することにより社員のワークライフバランスを充実させ、ひいては社員の働きやすさや健康にもつながることを目的としています。もちろん生産性が落ちてはいけませんので、テレワークのメリット・デメリット、またテレワークを制度化した場合のリスクとその解決法などについて月に1度程度委員会を開いて話し合っています。第1期メンバーは管理本部内の役員から一般社員までの7名となっており、立場の枠を超えて異なる意見を出し合うことができます。

本年3月22日から4月21日まで、全国の営業所で実験的にテレワークを行ってもらいアンケートを集計したところ、回答者ほぼ全てがテレワークに対して肯定的であるという結果が得られました。

これからガイドラインの整備を行い、制度化に向け更に議論を深めていく予定です。



テレワーク検討委員会



#### 社員の一言

BCP対策として、また、働き方改革の一環として、当社の強みとなっている既存の働き方を維持していく「ハイブリット型テレワーク」の導入に向け、制度の準備を進めてまいります。  
テレワーク検討委員 上羽 弘美

## リスク管理の取り組み



### 企業倫理基準

当社では2006年9月に「企業倫理基準」を発行・交付して、法令遵守や企業倫理について、社員に周知しています。適法で公正・安全な事業活動の推進を徹底するため、社員一人ひとりの行動指針を具体的に示したものです。



### ～新型コロナ感染対策から進んだこと～

当社では各部署が日ごろからそれぞれのリスク管理に取り組んでいますが、新型コロナの感染災害に対してもそのリスク管理が生きたことや、感染防止に取り組んだことでさらに進んだリスク管理があります。その一部をご紹介します。

### 総務課のリスク管理

総務課では、普段から大規模災害を想定したリスク管理として、BCP事務局や安全衛生委員会等と連携して様々なことを行っています。

例えば、緊急時用の食料品・水・救急用品の管理や、緊急連絡先のアップデート、安否確認ツールのメンテナンスや全社訓練、実災害時の物品や応援人員の手配等です。

昨年より、新型コロナウイルスの感染防止のため、緊急対策本部の主管部署として、社員への情報発信や感染対策用品の各部署への配布等を行いました。

また、Web会議システム導入を社内へ展開し、接触機会の減少に努め、不可避の来客に対しては検温・マスク・密にならない空間・アクリル板・導線の工夫・徹底的な消毒等、あらゆる感染対策を行いました。

今回のコロナ対策を含め様々な災害を想定し、先を見通した準備と、各拠点の支援要求に細やかに対応することが必要だと感じています。



#### 社員の一言

巴商会はいくつかの災害を経験し、且つ総務課には被災経験者も実際に所属しています。その様な経験を活かし、社員の方々が如何にして安心して業務を行えるか考え、日々業務を遂行しています。

総務課 丸茂 高輔

### 災害時の給与振り込み

給与課では、非常災害時やパンデミック（感染症流行）時における事業継続の一貫として給与支払いをリスク管理ととらえ、給与課員全員が出社できない時も、社員の給与が滞りなく支払われるように、インターネットバンキングシステムを使用した給与振込（国内・海外とも）の承認訓練を、当社役員を交えて定期的に行っています。今期（2020年9月1日～2021年8月31日）は12月、3月、6月の計3回行いました。昨年、新型コロナウイルスの蔓延で在宅勤務等が急増した状況を考えると、感染症に関わらず大規模災害はいつ起きてもおかしくないため、この訓練の必要性が増してきたと感じます。今後も訓練を継続して行う予定です。



#### 社員の一言

これからも不測の事態に備え平常時からの計画に従った事前対策及び訓練、問題点の抽出見直し・改善を継続していきます。

給与課 田中 稔

### 営業本部の取り組み

当社の使命のひとつは「安定供給」ですから、感染災害時にもガスを止めることはできません。恒にも増して在庫量の調整を徹底し、サプライチェーンに問題が起きないか定期的にチェックしました。客先への入場時にはマスクや手指消毒はもちろん、非接触型体温計の使用や行動履歴の申請等感染が起きないように徹底的に感染対策を行いました。

### 機器営業部の取り組み

機器営業部ではその仕事の強みを生かして、感染対策に有効な「空気浄化装置ReSPR」や「感染予防励行装置Guardian」のような機器を社内やお取引様に紹介・販売しました。「空気浄化装置ReSPR」は、アメリカのNASAが国際宇宙ステーション内の空気浄化システム用に開発した、最新技術を搭載した空気浄化装置です。不在時に室内を高濃度オゾンで浄化するAwayモード（タイマー機能有り）を搭載しており、週末等に室内を強力に浄化することも可能です。お客様からも「換気ができない部屋の感染対策ができる」、「ドアノブなど不特定多数が触れる箇所の毎日の洗浄作業から解放された」といった感謝の言葉をいただきました。「感染予防励行装置Guardian」は、比較的小型で音声案内と指先消毒、体温測定などの3つの機能を持ち、音声案内により来訪者へ指先消毒と体温測定を促すため受付等に置いて使用しました。



空気浄化装置 ReSPR  
ReSPR FLEX (最大適用床面積 279m<sup>2</sup>)



感染予防励行装置 Guardian  
(本社 6F 受付前に設置)



#### 社員の一言

感染予防と製品の理解を深めるために自宅用でReSPRを1台購入しました。都内の感染者数が増えて不安なときでも、ReSPRがあるので心強く購入して良かったと思います。また、ReSPRやGuardianを拡販することで、少しでも感染者が減ることに寄与出来ればと思っています。

機器営業部 田原 茂

## 採用活動・新入社員研修

昨年以降、感染拡大が続く新型コロナウイルスにより、当社の採用活動も大きく変わりました。2020年3月より、会社説明会や1次試験は対面形式とオンライン形式を併用しております。今期（74期：2020年9月～2021年8月）オンラインで実施した会社説明会は新卒・キャリアあわせて50回程度、オンライン1次試験は150回を超えました。オンラインで実施する場合、各段階で機材や通信環境の確認が必要となり、面接以外の作業工数は3倍以上に膨らんでいます。一方で応募者との直接的な接触機会が減ったことから普段の姿や人柄は判断しにくくなりました。結果として2次試験以降はなるべく対面での面接実施を試みました。

会社や社員の雰囲気を知りたい、職場環境を見たいという学生さんが多い一方、ご家族と同居する学生さんは感染リスクを避けるため、最終面接もオンラインを希望される方もいました。本社へお越し頂いた際は、最少人数、距離を2m以上あける、座席・会場の消毒、パーティション使用、体温測定、マスクやフェイスシールドの着用、サーキュレーターによる空気の入れ替え等、感染防止に取り組みました。また、社員がいない休日に試験を行う等の感染対策も行いました。

新入社員研修では、初の試みとしてオンライン研修のノウハウを持つ当社の研修室と協同で開催し、研修期間の前半はオンライン、後半は少人数グループでの実技中心の集合研修としました。新入社員全員が一堂に会す事はありませんでしたが、前半のオンライン研修で、グループワークも多く取り入れたことで、同期間の交流を図ることもできました。新入社員からは、同期とのコミュニケーションができてよかった、感染防止策をしっかりともらったので安心して研修に参加できた、という声をもらっています。

オンラインインターシップの様子



※地方在住の学生ともオンラインでロールプレイや企業説明ができました。

対面形式（少人数グループ単位）での新入社員研修



※オンラインでは実践しにくい名刺営業交換、電話応対は対面で実施しています。

面接前、感染予防のひとつとして



面接会場への入室前に手指消毒をしていただきました

面接後、社内を紹介



対面での最終面接終了後、社内の雰囲気や部署ごとの業務についてお伝えしています。



### 社員の一言

人事課では学生と企業の両者にとって満足度の高い採用活動を行う事、新入社員が配属先でスムーズに定着できる実践的な研修の実施を心掛けています。

人事課 堀江 高司

## オンライン研修への切り替え

研修室では、「お客様のためになることをする」という当社の理念の浸透を目的に、毎年延べ1000人以上の社員を対象に、クラス別定期研修やフォローアップ研修など多様な研修を、年間約130回行っています。これらの研修はすべて対面の集合研修で行っていましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため昨年2月末より集合研修を一時停止し、オンラインでの研修準備を順次すすめ、6月よりはすべてオンラインでの研修に切り替えました。

切り替えにあたって大変だったのは、パソコンやウェブカメラ・スピーカーなどの機材の確保でした。研修を受ける社員が機材を手配できない場合は本社から貸し出しという形で送ったりもしました。オンライン研修の仕組みづくりについては、受講方法の詳細なマニュアルを作成し対象社員に事前配布し、研修前に通信テストも行っています。また、自分達でもオンラインの研修方法を勉強し、動作を大きくしたり、社員が積極的に参加できるように数分おきにチャットを取り入れたりする等、様々な工夫をしました。初期の頃は研修する方も受ける方も手探りでしたが、今ではスムーズに行えていると思います。

一方でオンライン研修のみだと社員同士のコミュニケーションが難しい部分もありますので、コロナ騒動が終息した後は、オンライン研修と集合研修を使い分けていけるよう、現在それぞれの研修内容の評価をしているところです。今回オンライン研修ができるようになったことで、今後他の災害時にも対応できる仕組みと自信ができました。



研修の工夫



新人フォローアップ研修会



定期研修会



キャリア採用社員向け研修会



### 社員の一言

今回、新型コロナをきっかけにオンライン研修に切り替わりましたが、変化に対応しながら研修を行っていくことは大事だと実感しました。今後はBCPの観点からも、研修を止めないように運営をしていきたいと思っています。

研修室 橋本 愛美

## 企業市民としての活動



私たちにできる「身の丈に合った活動とは何か」を常に考えながら、年間計画を作成し、継続した社会貢献活動を行っています。

### 1 | 社内的な取り組み

#### 社会貢献ワーキンググループ活動の定着化

巴商会では、地域社会やその他のコミュニティへどのように貢献すればよいのかということを検討した結果、ボランティア活動などに代表される体験型の社会貢献を第一歩の活動とすることにしました。

気軽にそしてより多くの社員が社会貢献活動に参加でき、継続的・計画的に活動の輪を広げて行くことを目的として、志のある社員を中心に「社会貢献ワーキンググループ」を2012年1月より組織しました。

現在では、ワーキンググループによる年間の企画が、社内のネットワークを通して社員へ案内されており、定期的に社会貢献活動に参加する社員が増えてきています。

今年は新メンバーのみでの活動が本格的にスタートしましたが、新型コロナウイルスによる影響で例年の清掃活動等は実施されなかった為、新たなボランティア活動を探すことから始めました。視野を広げると様々なボランティア活動が行われていることに気づくことができました。今後はコアジサシ（渡り鳥）営巣地整備等の新しい活動を含め、人との繋がりや環境保護への意識を持ちながら、社会貢献ができたかと考えています。

### 2 | 私たちのボランティア活動

ボランティア活動への参加状況（2020年9月～2021年8月）

16部署/509枚



書き損じはがきの寄付活動  
(日本盲導犬協会神奈川訓練センター)

8部署/18,963個



エコキャップの寄付活動  
(NPO法人 Reライフスタイル)

20部署/1051本



カレンダー寄付活動  
(各都道府県社会福祉協議会など)

4名参加



【新規活動】コアジサシ営巣地整備  
(NPO法人 リトルターン・プロジェクト)

20部署



使用済み切手の回収・寄付活動



#### 社員の一言

##### 「コロナ禍でもできる社会貢献を」

昨今の新型コロナウイルス感染拡大を受け、例年同様の活動が難しくなっています。そのような状況でも出来ることを模索し、新しい活動に取り組んだ1年になりました。今後は社員とその家族が安心して参加できる社会貢献活動を目指していきたいと思っております。

社会貢献ワーキンググループ 森田 悠介

### 3 | 地域社会へ参加の取り組み

#### 交通安全街頭活動

巴商会は、地域の安全のため、1971年より蒲田安全運転管理者部会の一員として、毎月2～3回、交通安全街頭活動を行っています。主な活動として、幹線道路が交差する地点等で、車による歩行者の巻き込み事故防止のために、ドライバーや歩行者・自転車の通行者に対して交通安全に対する意識を高めるよう啓蒙活動に取り組んでいます。



#### 「アースフレンズ東京Zを応援！」

巴商会は、大田区総合体育館をホームアリーナとして活動しているプロバスケットチーム「アースフレンズ東京Z」を協賛・応援しています。「アースフレンズ東京Z」は、地域との交流・子供たちへの指導を通して、バスケットボールの普及・選手の育成活動を行い、世界へ羽ばたく人づくり・街づくりを目指しています。

試合の応援グッズとして、巴商会の関連会社である宝興産株式会社が、応援用バルーンを作成しました。宝興産株式会社は「アースフレンズ東京Z」とパートナー企業契約を結び、ともに「アースフレンズ東京Z」を応援しています。

試合後には選手との交流会、試合以外でも、一緒に野外ボランティアを行うなど、地域への貢献活動を行っています。昨年は新型コロナウイルス感染防止のため野外ボランティアは行えませんでした。今後は「アースフレンズ東京Z」を通して、地域への貢献活動を行っていきます。



応援用チームカラーの光る風船



本冊子に関してのご意見・ご質問がございましたら、下記宛先までお願いいたします。

**株式会社 巴商会 (監修：総務部 法務課)**

〒144 - 8505 東京都大田区蒲田本町一丁目 2 番 5 号 ネクストサイト蒲田ビル  
TEL. 03-3734-1111 (代表) FAX. 03-3739-1070